

# 公民館の活用について

令和7年度第3回総合教育会議(令和8年3月17日)

富士見市公民館キャッチフレーズ

「心」みだす一歩、

「じ」ぶん発見、

「み」んなつながる 公民館



## ※ 説明の流れ

はじめに・・・公民館のあゆみ

- 1 近年の社会状況の変化と公民館の背景(課題)
- 2 課題解決に向けたこれまでの取組・成果(主なもの)
- 3 更なる取組による公民館の充実、PR
- 4 新たな取組・実践
- 5 まとめ・論点

# 公民館のあゆみ ①

富士見市の公民館は昭和32年から設置され、現在各地区に4館あり、あらゆる市民を対象に、さまざまな事業(学びの機会)を行っています。市民誰もが、いつでも、どこでも学習でき、その学びの成果を分かちあうことで、子どもたちが健やかに育つ環境や人々が暮らしやすいまちづくりにつながるよう、ともに学びあう地域社会をめざし、さまざまな取組を行っています。

## (1) 全市事業

昭和49年(1974年) 子どもフェスティバル

昭和53年(1978年) 市民大学

昭和56年(1981年) 障害者青年学級

昭和62年(1987年) 教育・福祉・保健・医療

を考えるシンポジウム

(現在の地域・自治シンポジウム)

ピースフェスティバル



水谷公民館  
昭和55年(1980年)  
新築



鶴瀬公民館  
昭和55年(1980年)  
新築

# 公民館のあゆみ ②

## (2) 地域事業

昭和50年(1975年) 公民館だよりの発行

昭和51年(1976年) 高齢者学級

昭和56年(1981年) 公民館まつり<公民館文化祭、ふるさと祭り>

子育て教室、子ども対象事業の他に、地域づくり・まちづくり学習など

### \*地域課題・生活課題を重視する公民館事業が確立



### \*新たな展開

※ 少子高齢化

介護予防事業 平成11年(1999年)

子育てサロン事業 平成12年(2000年) など

※ 使用料の原則有料化 平成17年(2005年)



水谷東公民館

昭和56年(1981年)

新築



南畑公民館

昭和56年(1981年)

新築

# 1 近年の社会状況の変化と公民館の背景(課題) ①

## \* 地域や人のつながりの希薄化



- 少子高齢化
- コロナ禍
- 個人の自由やプライバシー重視 など

# 1 近年の社会状況の変化と公民館の背景(課題) ②

## \* 若年層や子育て世代の地域活動への参加減



- 共働きの一般化
- 地縁の希薄化
- SNSでのつながり など

# 1 近年の社会状況の変化と公民館の背景(課題) ③

## \* サークル・団体の構成メンバーの減少、 若年利用者の低下



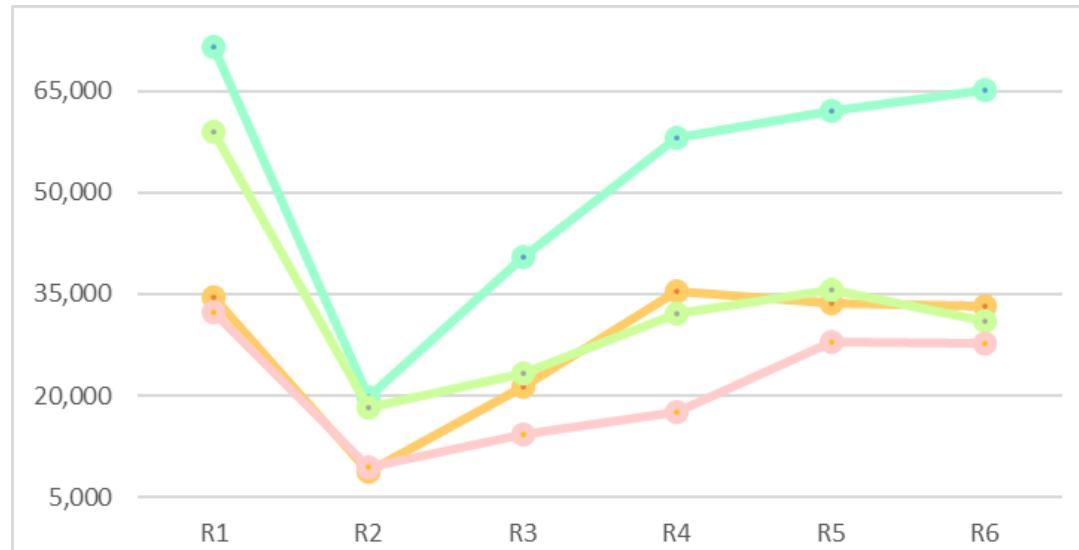
- 高齢化や健康上での理由による、活動継続困難になるケースの増
- SNS等によるゆるやかなつながり（活動形態の多様化）
- 学びの多様化（カルチャースクール、フィットネスクラブ等）

# 1 近年の社会状況の変化と公民館の背景(課題) ④

\* 利用者の減少、サークル・団体の構成メンバーの減少

【利用者数の推移R1～R6年度】

公民館	R1	R2	R3	R4	R5	R6
鶴瀬	71,447	19,874	40,490	57,998	62,088	65,135
南畑	34,596	8,866	21,361	35,379	33,543	33,210
水谷	59,048	18,139	23,336	32,138	35,579	31,089
水谷東	32,296	9,437	14,361	17,612	27,919	27,748
合計	197,387	56,316	99,548	143,127	159,129	157,182



# 1 近年の社会状況の変化と公民館の背景(課題) ⑤

## \* 社会の急速なデジタル化の進展



- **社会として** → SNS、各種手続き等の電子化
- **公民館施設利用として** → 公共施設予約システム  
による予約手続
- **市民の学びとして** → デジタルデバイド対策 など

**公民館に求められる学びや交流の在り方の変化**

## 2 課題解決に向けたこれまでの取組・成果(主なもの) ①

### \* 富士見市公民館運営の4つの原則

- ①市民主体の原則
- ②地域主義の原則
- ③教育機関の原則
- ④自由な活動の場としての施設提供の原則

### \* 公民館の5つの役割

- ①学級・講座の開催
- ②地域社会をつなぐ
- ③情報の提供
- ④相談・援助
- ⑤施設・設備の提供、整備

## 2 課題解決に向けたこれまでの取組・成果(主なもの) ②

### \* 異世代との交流や郷土愛をはぐくむ取組

- ・ 公民館まつり、文化祭等 (各公民館)
- ・ 子どもフェスティバル
- ・ ピースフェスティバル (鶴瀬=全市)
- ・ なんばた青空市場 (南畑)
- ・ 水谷こども広場 (水谷)
- ・ やなせ川いかだラリー (水谷東) など



中学生のボランティア参加 など

## 2 課題解決に向けたこれまでの取組・成果(主なもの) ③

### \* サークル団体活動を支援し、 地域住民同士の交流や連携を深める機会

- ・ サークル活動公開月間 (全館)
- ・ まちづくり協議会支援 (南畑、水谷、水谷東) など



## 2 課題解決に向けたこれまでの取組・成果(主なもの) ④

### \* デジタル化社会への対応

- スマホ教室 (全館)
- STEM教育に関する講座 (南畑、水谷、水谷東)
- eスポーツに関する取組 (鶴瀬、水谷、水谷東)
- 公共施設予約システム：オンライン支払対応 など



### 3 更なる取組による公民館の充実、PR ①

#### 【参考】国の動向

- ・中央教育審議会生涯学習分科会 社会教育の在り方に関する特別部会  
審議事項1に関する意見の整理（令和7年3月）

#### ⇒※社会教育行政を推進するうえでの重要な視点

社会教育行政を通じて、**個人と地域のウェルビーイング\***の向上を目指すためには、**共生社会の実現やデジタル社会への対応**に資する観点や、**幅広い世代の参画を促す工夫、学ぶ楽しさを軸としたアプローチ**が重要。

- \*ウェルビーイング
- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる 持続的な幸福を含む概念。
  - 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

### 3 更なる取組による公民館の充実、PR ②

#### 【参考】富士見市の位置づけ

- ・ **富士見市第6次基本構想・第2期基本計画** (R3年度～R7年度)  
⇒ **基本政策15** : 自由な学びにより生きがいができる
- ・ **第3次富士見市教育振興基本計画** (R5年度～R9年度) ・ **令和8年度富士見教育行政方針**  
⇒ **基本方針Ⅱ 学びあう地域社会をめざす教育の推進**
  - ・ とともに学びあう地域社会をめざす社会教育を推進
  - ・ 家庭・地域の教育力の推進
  - ・ 生涯にわたる学習機会の提供と地域づくりの推進 など
- ・ **第4次富士見市生涯学習推進基本計画** (R8年度～R12年度:予定)  
⇒ **基本目標** ① 多様な学習活動への支援 ② 地域資源を活かした生涯学習活動の支援  
③ 生涯学習を通じたコミュニティの活性化 ④ 生涯学習関連施設の充実  
\* **同好の者 (いわゆる推し活など) の取組 など**

### 3 更なる取組による公民館の充実、PR ③

#### \* 新たな利用者増や

公民館、地域活動参加のきっかけとなることをねらい

#### 4 公民館における新たな取組（イベント・講座）



※各館の地域性等に応じて新たな事業の実施

- ・ **南 畑** → CRAFT NIGHT GARDEN 2025 R7.7.5
- ・ **水谷東** → イエローカフェ R7.11.9
- ・ **水 谷** → コウミンカンビアガーデン R7.11.22
- ・ **鶴 瀬** → あったかイベントinつるせ R8.3.15
- ・ **4館合同事業(水谷東公民館メイン)** → Fujimi×ららコレクション R8.2.23
- ・ **全市事業（4公民館合同）若手職員中心に企画**  
→ 地域・自治シンポジウム『オススメしたくなる公民館になろう』 R8.2.1

(詳細別途説明)

### 3 更なる取組による公民館の充実、PR ④

#### \* 公民館のイメージアップ

#### ・ 4 公民館共通のキャッチフレーズの作成

新たな世代の参加や世代間交流につながる取組、公民館の活性化、新たな利用者開拓等を進めるため、新たな事業等に取り組んでいるが、この取組を一層進めるために、4 公民館の積極的な姿勢をキャッチフレーズとして市民に向け発信するとともに、公民館をより身近に親しんでもらうことをねらう。



「ふ」みだす一歩、  
「じ」ぶん発見  
「み」んなつながる 公民館

※教育委員会職員から  
122点の応募及び  
公民館運営審議会での意見  
を基に、教育委員会課所室  
館長会議にて決定

### 3 更なる取組による公民館の充実、PR ⑤

#### \* 公民館のイメージアップ



#### ・ キャッチフレーズの目指すもの

##### 「ふ」みだす一歩

⇒公民館で新しいことに挑戦したり、興味ある分野へ参加したりする一歩の場となること。  
公民館自体の姿勢としても新たな一歩を踏み出すことも含む。

##### 「じ」ぶん発見

⇒公民館での活動（サークル活動、講座・イベント参加等）を通じて、  
自分の新たな関心や興味、可能性を発見すること。

##### 「み」んなつながる公民館

⇒公民館のサークル活動、講座・イベント参加等への参加、学び、交流をとおして、  
世代を問わず、ひと、モノ、活動、地域など様々なものにつながること。

### 3 更なる取組による公民館の充実、PR ⑥

#### \* 公民館のイメージアップ

- ・ キャッチフレーズの活用



- ・ 令和8年度教育行政方針に反映
- ・ 各公民館だよりへの掲載（令和8年4月号予定）
- ・ ロゴを作成し、チラシ、公民館だより等に4公民館共通で掲載

など

### 3 更なる取組による公民館の充実、PR ⑦

**\*より活用できる施設利用** (令和8年4月利用分から使用料改定)



#### 利用向上に向けた取組

- ・サークル活動充実への支援
- ・手続等の緩和
- ・個人利用等の利便性向上\*など



\*令和4年8月 中央教育審議会生涯学習分科会 第11期中央教育審議会生涯学習分科会 における議論の整理

～全ての人のウェルビーイングを実現する、共に学び支えあう生涯学習・社会教育に向けて～

社会教育関係団体に所属していない個人やNPO等にとって参加しやすい社会教育の活動、利用しやすい社会教育施設を目指す努力も必要である。

#### 販売に関する取組への対応

- ・地域交流や活性化に資する取組\*との連携 (移動販売、ビアフェスなど)



\*令和5年12月14日 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課 社会教育法第23条第1項第1号の解釈の周知について

# 4 新たな取組・実践 ①

\* 南畑公民館 Craft Night Garden 2025 R7.7.5(土)16:00~21:00



## ・ 取組のねらい／内容

### ○新たな層の創出

住民交流・世代間交流の場の提供

近年居住を始めた方々や地元で育った方との交流の場の提供

### ○実行委員会参加団体それぞれにメリット

**公民館:**利用についてPR、施設の理解度向上機会、施設の有効活用(中庭スペースの活用)

**町会:**交流を通して地域活動への理解の普及と担い手の創出

**農バルプロジェクト事業企画委員会:**地域で働く人や事業者とのネットワークから地域の盛り上がりを創出(今回は地元南畑のビアバーのクラフトビール)

**公民館利用者の会:**利用者の拡大・地域活動の推進

**南畑キッチン:**地域への理解、啓発

**南畑地域まちづくり協議会:**地域住民の交流推進

**(第3町会スポーツクラブ、サンデー朝野球、子育てサークル等):**地域の子育て世代の声「近場で楽しみたい、地域の方々と交流できる場がほしい」の実現

## ・ 成果／工夫

- 交流のツールとしてクラフトビールをメインに採用
- サークル等常連利用者だけではなく休日に地元にいる様々な方が来場しやすい各種企画を立案  
(基本ゼロ予算であるがチラシ・無料配布ポップコーンは利用者の会の支援で実施)
- 企画① ステージ演奏(2組)  
企画② こどもクラフトコーナー(紙コップタワー、七夕飾り、ベーゴマブレード体験)  
企画③ こどもポップコーン無料配布  
企画④ チェアリングでゆっくりしよう
- 販売品 クラフトビール400杯(南畑産トマト・お米を使ったビール、他数種類)  
カレーライス、もつ煮、フランクフルト、餃子、焼きそば、ハイボール、  
サワー、ジュース、お茶
- 来場者 約600人超、実行委員会 12名、当日サポーター 20名
- また開催してほしいとの声が多数
- 事後成果 演奏企画が好評であり公民館で演奏したいという方が数組名乗り出た事で新事業「ロビーコンサート」を開始(まちカフェとコラボ開催)

## 4 新たな取組・実践 ②

\* 水谷東公民館 イエローカフェ2025 R7.11.9(日)10:00~14:00



\* 水谷東公民館 イエローカフェ2025 R7.11.9(日)10:00~14:00

## ・ 取組のねらい／内容

- 「若い世代を公民館に呼び込むイベント」ということで、水谷東公民館では、3年ぶりとなるイエローカフェを開催した。
- 地域住民・世代間交流の場の提供
- イエローカフェとは、**公民館を身近に感じてもらうための取組の一つ。飲み物を無償で提供し、ゆったりと歓談できる喫茶店のような居場所。公民館運営審議会委員の発案。**

## ・ 成果／工夫

- 参加者は100人程度。そのうち、アンケートに協力して頂いた方56人。アンケートより4町会の方48人。その他地域の方8人。初めて公民館に来た方9人。10代の参加者10人（17.9%）、20代の参加者0人(0%)、30代の参加者6人(10.7%)、40代の参加者3人（5.3%）、50代の参加者4人（7.1%）、60代以上の参加者33人(59.0%)
- 異世代の参加者同士が同じテーブルに座り、交流する姿がみれた。
- 若い世代を呼び込むための工夫として、水谷東小学校児童の作品展示、Wishコーラスによる合唱（午後1時から30分程度）を企画した。Wishコーラスの合唱が始まるころにはホールのイスが足りず、追加で10脚ほど用意した。

## 4 新たな取組・実践 ③

\* 水谷公民館 コウミンカンビアガーデン R7.11.22(土)15:00~20:00



\* 水谷公民館 コウミンカンビアガーデン R7.11.22(土)15:00～20:00

## ・ 取組のねらい／内容

- 地域の交流や若い世代の参加、新たな利用者の創出を目的として、「コウミンカンビアガーデン」を開催した。
- クラフトビールや軽食を楽しみながら、バンド演奏、ギター演奏、ピアノ演奏を聴きつつ、歓談したり交流したりできる居場所とした。
- 親子で楽しめるように木のおもちゃ、ボードゲーム、紙コップタワーなど、キッズコーナーを設けた。

## \* 水谷公民館 コウミンカンビアガーデン R7.11.22(土)15:00～20:00

### ・ 成果／工夫

○参加者は250人程度。そのうち、アンケートに協力して頂いた方が98人。アンケートの結果より、初めて公民館を利用した方や年に数回の利用者が16人、20代から50代の参加者が16人の回答があった。アンケートでは一部の方からの回答であるが、キッズコーナーでは、子どもと一緒に若い世代の方が多く参加しており、50人程度は参加していた。参加者からの感想では、次の開催を期待する声や子どもも楽しめたなど好評だった。

○若い世代や新たな参加者を呼び込むための工夫として、子ども食堂による模擬店の出店やステージではバンドやギター演奏、プロピアニストによるピアノ演奏を行った。また、親子で楽しめるキッズコーナーを設けた。

## 4 新たな取組・実践 ④

\* 鶴瀬公民館 あったかイベントinつるせ R8.3.15(日)10:00~13:00



## \* 鶴瀬公民館 あったかイベントinつるせ R8.3.15(日)10:00~13:00

### ・ 取組のねらい／内容

○新たな世代や担い手の取込みと世代間交流

○子育て世代を中心に新たに公民館に足を運んでもらい、

事業や活動の参加のきっかけや世代間交流等につながる場とする

○市民の参加協力を基本とし、今後の事業展開において連携を深めるきっかけとする

**主な内容** ⇒ (1)ミニステージ発表／寄せ太鼓、コーラス、楽器演奏等  
(2)図書館との連携 / カフェトーク、ひと卓図書館  
(3)交流／よみきかせ、eスポーツ／子ども向け工作など  
(4)軽食コーナー／飲み物、わたあめ、お菓子、とん汁など

\* 鶴瀬公民館 あったかイベントinつるせ R8.3.15(日)10:00~13:00

• 成果／工夫

- 公民館運営審議会等の企画協力
- あったかをテーマに主に企画
- 図書館との連携による企画
- 新たな企画参加者（ミニステージ など）

4 新たな取組・実践 ⑤

令和8年2月23日(月祝)11:00~12:00

Fujiïmï ×

ららぽーと富士見 × ミッション

2026

# 取組のねらい／内容

○Fujimi×ららコレクションとは、市内在住の60代以上の方にモデルになっていただき、ららぽーと富士見で普段とは異なる服をコーディネートしてもらい、ランウェイを歩くファッションショー



- 行政 60歳以上の方で公民館や地域で新たに活動する方を増やしていく
- 市民 おしゃれをして楽しい気持ちで、周囲や地域を明るくする
- 企業 比較的高齢の方にも若者を対象とするお店で気軽に買い物ができることを知っていただくための取組の一つ



# 成果／工夫

○モデルの申込者は17人。当日のランウェイ参加者は、お孫さん等を含めると計29人（欠席1人。12歳以下のお孫さん13人。※ゲストの市長とお孫さんは含まず）。

○ファッションショーを見に来ていた方、150人以上。

○Fujimi×ららコレクションと同日開催で4公民館の出前事業を開催。

鶴瀬公民館ブース：16人

南畑公民館ブース：70組

水谷公民館ブース：100人

水谷東公民館ブース：50人が公民館ブースで工作を楽しんだ。

○参加者の皆様からは「また参加したい」「知らない人と話ができ楽しかった」「このメンバーで別のイベントを企画してみたい」「新たな自分を発見できた」「ポスターも素敵だった」などの感想を頂いた。

○今後、事業の写真を4公民館で巡回展示する。ららぽーと等との連携した取組の検討。

## 4 新たな取組・実践 ⑥

第39回  
富士見市地域・自治シンポジウム

# オススメしたくなる 公民館になろう！

会場：水谷公民館  
とき：令和8年2月1日（日）  
13：30～16：00



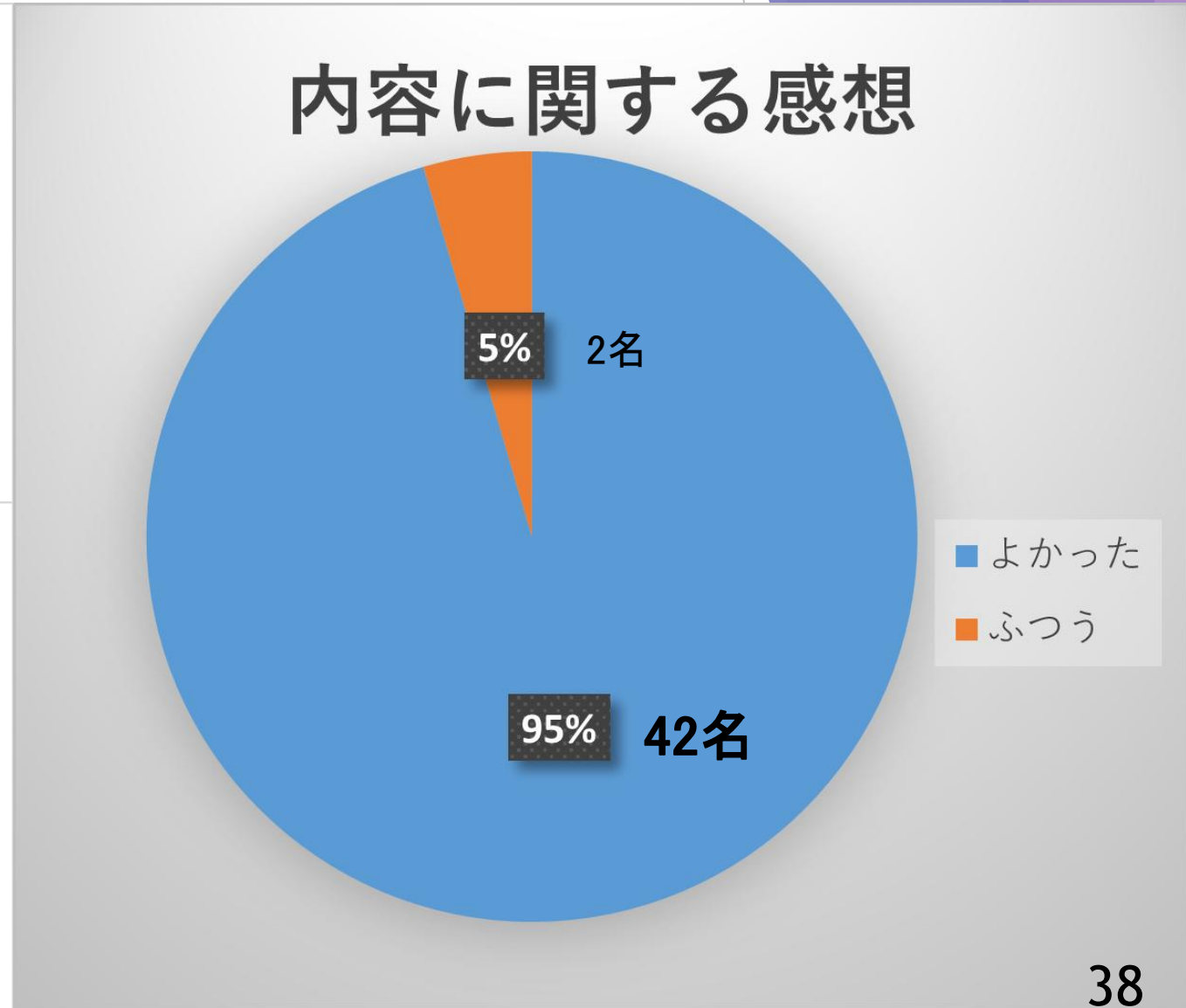
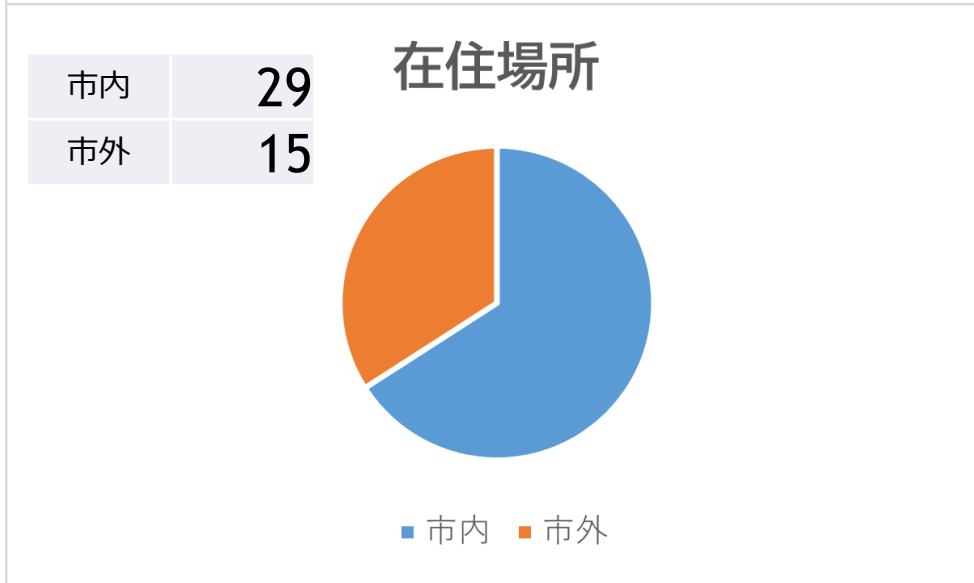
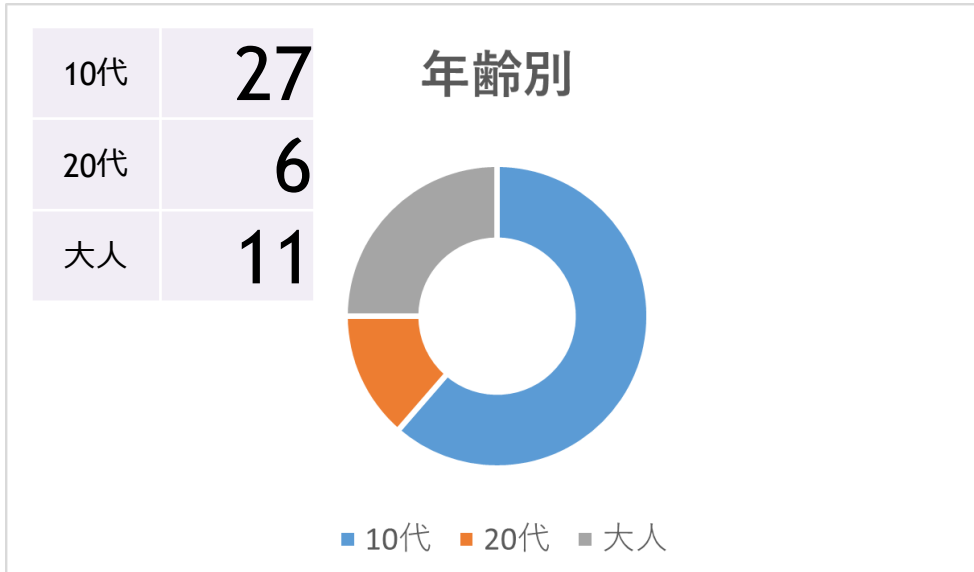
## 内容

- 「若手世代から公民館が学ぶ」ことを目的として、公共施設の利活用実績がある元・行政職員をファシリテーター及び講師として招聘し、ワークショップ形式の講座を開催した。  
ワークショップのテーマは「大切な人にオススメしたくなる公民館」として、実施した。

## 取組のねらい

- 若い世代に公民館の存在意義や活動を知る機会を設ける。
- 実際の若手世代が求めている「潜在欲求」（マーケティング）を見つける。
- 出た意見を集約し、今後の企画立案などに活かす。
- 互いの意見や考えを尊重しながら意見形成を行う体験を通して「人間尊重」の精神をはぐくむ。

# アンケート結果(44名回答) ※10代・20代は中学～大学生



## \* 全市事業(4公民館合同)

### 地域・自治シンポジウム 『オススメしたくなる公民館になろう』

R8.2.1(日) 13:30～16:00

#### ・ オススメしたくなる公民館って？ (グループワークの意見)

(中高生・大学生グループ)

OAグループ：いろいろな年代の人がイベントを楽しめる公民館

OBグループ：年代関係なく、色々なことができ、気軽に立ち寄れる公民館

OCグループ：壁がなく、ストレス発散になり、みんなの居場所となる公民館

ODグループ：みんなが安心して過ごせる公民館

OEグループ：無料の別荘のような公民館

OFグループ：旅館のようにアットホームで出会いのある公民館

OGグループ：年代に関係なく楽しく交流できる自分の居場所になるような公民館

(大人グループ)

OHグループ(①):多様な市民が集い、何をしてもいい、何もしなくてもいい公民館

OHグループ(②):誰かいろいろな人がいる(オープンな関係性)

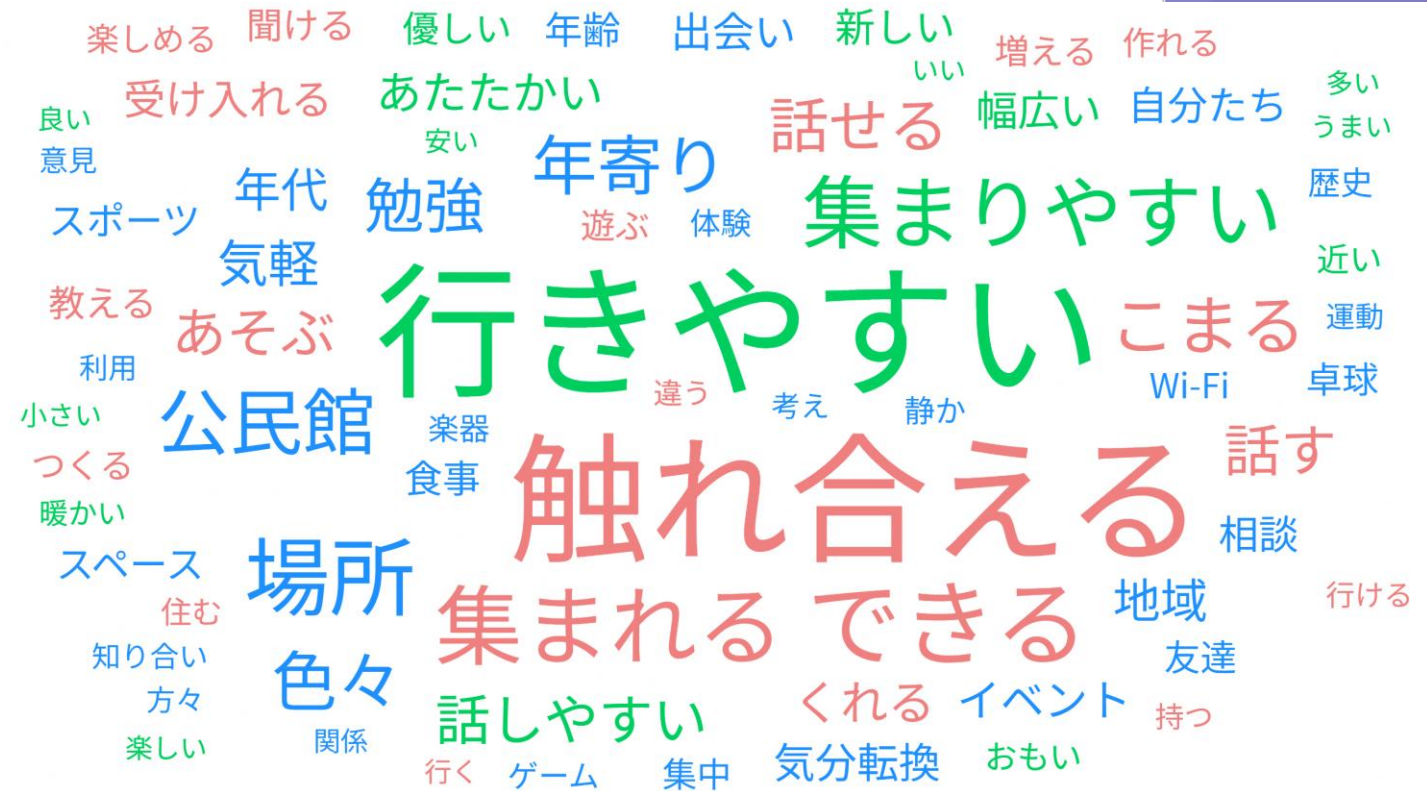
## ワークショップ集計

### 「頻出単語 上位5」

- ・場所(23個)
- ・勉強(16個)
- ・イベント(11個)
- ・相談(9個)
- ・友達(9個)

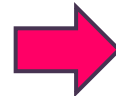
### 「頻出単語ペア 上位5」

- ・できる、場所(60個)
- ・できる、話す(41個)
- ・場所、話す(35個)
- ・くれる、できる(32個)
- ・できる、勉強(31個)



※自由記述欄をテキストマイニング実施、記述内容の頻出単語とその関係性を視覚化

これらを踏まえると、若手世代からは  
**サードプレイスとしての使いやすさ、集まりやすさ、**  
**保護者・教師以外の頼れる大人、相談できる場所**  
**あったり、友達と来やすい、勉強しやすい場所**への昇華  
 を望んでいると推察される



**具体的な施策は今後検討。今回のような中学生**  
**を中心としたワークショップの場は継続したい。**  
 ①学校以外の教育機会  
 ②子ども側が他者の目を気にせず発言する場  
 ③将来的に市への愛着意識の醸成、コミュニティに  
 対する意識の向上を狙う

## 5 まとめ・論点 ①

### \* 新たな取組・実践からの発展

- ・各公民館での新たな取組
- ・地域・自治シンポジウムでの中・高・大学生の声の反映

### \* 若い世代の参加や新たな地域の担い手の発掘

- ・サークル・団体に所属していない個人にとって、参加しやすい社会教育、公民館活動  
⇒SNS等で賛同する者の集まり、同好の者（推し活）等
- ・ボランティアだけでなく、企画等への参画  
⇒（例）南畑公民館：皆怪亭、図書館：YAサポーター
- ・魅力ある施設  
⇒（例）楽器演奏ができる施設、居場所的に使える施設等

### \* 公民館は身近にあるとういうことをより打ち出すための工夫

- ・情報発信とコミュニケーションの手法、イメージアップ など

### \* 既存利用者等との関係

- ・高齢化⇒居場所、介護予防としての役割は更に重要に

### \* 既存事業のあり方 ⇒ 高齢者学級 子育て事業 など

- ・事業の形骸化
- ・実行委員等の担い手不足
- ・学習形態の多様化 など

## 5 まとめ・論点 ②

キャッチフレーズ

「ふ」みだす一歩、  
「じ」ぶん発見  
「み」んなつながる 公民館

の具現化

### 「ふ」みだす一歩

⇒公民館で新しいことに挑戦したり、興味ある分野へ参加したりする一歩の場となること。  
公民館自体の姿勢としても新たな一歩を踏み出すことも含む。

### 「じ」ぶん発見

⇒公民館での活動（サークル活動、講座・イベント参加等）を通じて、  
自分の新たな関心や興味、可能性を発見すること。

### 「み」んなつながる公民館

⇒公民館のサークル活動、講座・イベント参加等への参加、学び、交流をとおして、  
世代を問わず、ひと、モノ、活動、地域など様々なものにつながること。